

【資料1－2】

2期計画に記載予定の事業一覧（個票）

事業一覧（個票）の解説

事業No.	① 7	② 歴史的風致形成建造物保存事業建造物の調査・保存・修理・活用 良好な市街地環境や景観の保全・形成
③ 事業名	歴史的風致形成建造物保存事業	
④ 事業期間	令和8年～令和17年	
⑤ 事業主体	村上市	
⑥ 支援事業名	村上市単費	
事業箇所 事業の資料	重点区域 	
⑧ 事業概要	歴史的建造物を保全するため耐震化及び老朽箇所を修繕しながら外観を修景しつつ、歴史的風致形成建造物として保存する。	
⑨ 事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	重点区域内の旧町人町、寺町内には、戦前以前に建築された町家などの歴史的建造物が多数現存しているが、老朽化による破損や劣化、耐震上の問題等を修理や補修が必要な建造物が多く、また、建て替えによる歴史的建造物の喪失に繋がることから、これらの歴史的風致の要素となり得る建造物を保存することは歴史的風致の維持向上に寄与する。また、歴史的風致形成建造物の指定をきっかけとし、建造物の所有者に対し、保存の重要性についても周知できることから歴史的風致の維持向上に寄与する。	
⑩ 事業創設区分	継続	
⑪ 区分選択の根拠	歴史的風致形成建造物について、建造物の指定を通じて所有者に建造物の保全に対する意識が向上しており、また、地域住民にも、町並み景観の保全・活用に対する意識の向上が見られることから、今後も継続して事業実施を行い、市民意識の向上をより推進していくため。	
⑫ 所管課	都市計画課	
⑬ 備考		

①事業No：事業の通し番号

②基本方針：事業が対応している基本方針

③事業名：記載する事業の名称

④事業期間：実施する予定の期間

⑤事業主体：事業に取り組む団体

⑥支援事業名：事業費の支出元 ※国の補助金が活用できるか未定の事業も、
村上市単費と表記している

⑦事業箇所 事業の資料：事業を行う区域だが、この資料では、事業の概要がわかる
資料やイメージ図も併せて添付している

⑧事業概要：事業の大まかな内容

⑨事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由：事業を行う理由と、期待できる
効果

⑩事業創設区分：継続は1期計画から引き続き取り組む事業、新規は2期計画
から新たに取り組む事業

⑪区分選択の根拠：⑩の区分となった理由を説明

⑫所管課：事業を担当する課

⑬備考：そのほかに記載する項目

事業No.	1	歴史的建造物の調査・保存・修理・活用
事業名	歴史遺構顕在化調査事業	
事業期間	令和8年～令和17年	
事業主体	村上市	
支援事業名	村上市単費	
事業箇所 事業の資料	重点区域内 	
事業概要	追手門等の当該地に現存していない歴史遺構について、本質的な価値を顕在化するための歴史遺構箇所の調査など、今後の整備に向けた資料収集等を行う。	
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	重点区域である村上地域村上地区は、村上城の城下として形成発展した地域であり、区域内の各所に歴史遺構が現存しているが遺構跡を感じることができない状況である。追手門については、城門絵図とわずかな記録のみしかなく、どのような形態で立地していたのかが不明なことから、調査により資料を収集することで、今後の歴史景観の整備に向けた取り組みに繋がることから歴史的風致の維持向上に寄与する。	
事業創設区分	継続	
区分選択の根拠	古文書等の資料収集について、新資料が発見される場合もあり、継続的な調査・作業が必要であるため。	
所管課	生涯学習課	
備考		

事業No.	2	歴史的建造物の調査・保存・修理・活用
事業名	史跡村上城跡整備事業	
事業期間	令和8年～令和17年	
事業主体	村上市	
支援事業名	歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業	
事業箇所 事業の資料	<p>重点区域</p> 	
事業概要	史跡である村上城跡の石垣崩落箇所を修復する。	
事業が歴史的風致の 維持向上に寄与する理 由	事業地は、史跡である村上城跡内で、経年による石垣の崩落により、当時の面影を感じるできない状況である。村上城跡は、市民に「お城山」と親しまれており、旧村上城下のシンボリックな場所であることから、歴史的遺構を保全しつつ、後世にこの歴史的資産を継承することにより市民の歴史的資源の保全に対する意識の醸成が図られることから歴史的風致の維持向上に寄与する。	
事業創設区分	継続	
区分選択の根拠	石垣の修復作業については未完了である。また、修復・復元作業を通して構造等の研究が進められ、城跡の保全が継続して行えるようにするため、継続した事業実施が必要である。	
所管課	生涯学習課	
備考		

事業No.	3	歴史的建造物の調査・保存・修理・活用
事業名	史跡平林城跡整備事業	
事業期間	令和8年～令和17年	
事業主体	村上市	
支援事業名	歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業	
事業箇所 事業の資料	神林地域・平林地区 	
事業概要	史跡である平林城跡の土塁などの城郭遺構周辺の木々を除伐し、遺構を顕在化する。また、後世に削平された土塁等の遺構を修復する。	
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	事業地は、史跡である平林城跡内であり、曲輪や土塁、堀などの中世の城郭の遺構が色濃く残っている。しかしながら、この城跡の大半は、山林や農地であることから、遺構を顕在化するには除伐などの日常的な維持管理が必要である。これらの維持管理を行うことで遺構が顕在化され、市民に対し文化財の重要性を周知でき、この史跡周辺の平林、川部集落だけでなく、後背地の塩谷、坂町集落などもこの史跡と連携した歴史的なまちづくり活用できることから歴史的風致の維持向上に寄与する。	
事業創設区分	継続	
区分選択の根拠	前述しているとおり、日常的な維持管理が必要であり、また、地域における歴史学習において重要な役割を果たしている遺構である。地元住民の市民意識醸成においても同様であることから、今後も継続した事業実施が必要である。	
所管課	生涯学習課	
備考		

事業No.	4	歴史的建造物の調査・保存・修理・活用
事業名	重要文化財若林家住宅修復事業	
事業期間	令和8年～令和17年	
事業主体	村上市	
支援事業名	村上市単費 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
事業箇所 事業の資料	<p>重点区域</p> 	
事業概要	重要文化財である若林家住宅の茅葺屋根等の経年劣化箇所を修復する。	
事業が歴史的風致の 維持向上に寄与する理 由	事業地は、重要文化財である若林家住宅であり、当時の面影を今後も継続して保全、保存していくためには、茅葺屋根等の経年劣化による破損個所の定期的な修復が必要である。若林家住宅は、東日本に残る数少ないL字型の曲屋の寄棟造り茅葺きの武家住宅であることから、歴史的建造物を保全しつつ、後世にこの歴史的資産を継承することにより市民の歴史的資源の保全に対する意識の醸成が図られることから歴史的風致の維持向上に寄与する。	
事業創設区分	継続	
区分選択の根拠	市所有の若林家住宅については、茅葺屋根の経年劣化に対して定期的な葺き替え等の作業が必要となる。当該建築物は歴史的観光資源として活用されているだけでなく、市民の歴史まちづくりに対する意識醸成に関しても影響が大きいと見られるため、継続した事業実施が必要である。	
所管課	生涯学習課	
備考		

事業No.	5	歴史的建造物の調査・保存・修理・活用
事業名	市指定文化財武家住宅修復事業	
事業期間	令和8年～令和17年	
事業主体	村上市	
支援事業名	村上市単費 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
事業箇所 事業の資料	<p>重点区域</p> 	
事業概要	市の指定文化財である旧嵩岡家住宅等の武家住宅の茅葺屋根等の経年劣化箇所を修復する。	
事業が歴史的風致の 維持向上に寄与する理 由	村上城下として発展した村上地域村上地区には、茅葺屋根の武家住宅が現存している。文化財として日常的な維持管理が行われている一方、経年劣化等により屋根や壁面の修復、修理が必要な場合がある。このような建造物は、村上城下の歴史を感じることができる重要な歴史的建造物であることから適切な保全保存を行うことで後世に歴史的資産を継承ができ、市民の歴史的資源の保全に対する意識の醸成が図られることから歴史的風致の維持向上に寄与する。	
事業創設区分	継続	
区分選択の根拠	No.4同様、茅葺屋根の経年劣化に対して定期的な葺き替え等の作業が必要となる。当該建築物は歴史的観光資源として活用されているだけでなく、市民の歴史まちづくりに対する意識醸成に関しても影響が大きいと見られるため、継続した事業実施が必要である。	
所管課	生涯学習課	
備考		

事業No.	6	歴史的建造物の調査・保存・修理・活用
事業名	国県市指定文化財保存事業	
事業期間	令和8年～令和17年	
事業主体	村上市	
支援事業名	村上市単費	
事業箇所 事業の資料	市全域 	
事業概要	市内に所在する国、県及び市の指定文化財の所有者等、保持者又は保持団体等に文化財の維持管理や保存、修理等に要する経費の一部を補助する。	
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	史跡や名勝、有形文化財等の保存修理や維持管理、防災施設の設置費用を補助することにより文化財の保全保存、防災時の被害軽減による文化財の喪失を抑止することができ、併せて村上大工の技術の伝承にも繋がることから歴史的風致の維持向上に寄与する。 また、無形文化財の伝承や公開に関する事業の経費を補助することにより市民への普及啓発、ひいては、伝統的活動の担い手の確保にも繋がることから歴史的風致の維持向上に寄与する。	
事業創設区分	継続	
区分選択の根拠	市指定文化財について、今後も所有者と協力し保全を進めることで歴史的資源の喪失を抑止する必要がある。また、保全活動を推進することで、所有者のほか地域住民等に対する意識醸成にもつながることから、継続的な事業実施が必要である。	
所管課	生涯学習課	
備考		

事業No.	7	歴史的風致形成建造物保存事業建造物の調査・保存・修理・活用 良好な市街地環境や景観の保全・形成
事業名	歴史的風致形成建造物保存事業	
事業期間	令和8年～令和17年	
事業主体	村上市	
支援事業名	村上市単費 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
事業箇所 事業の資料	重点区域 	
事業概要	歴史的建造物を保全するため耐震化及び老朽箇所を修繕しながら外観を修景しつつ、歴史的風致形成建造物として保存する。	
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	重点区域内の旧町人町、寺町内には、戦前以前に建築された町家などの歴史的建造物が多数現存しているが、老朽化による破損や劣化、耐震上の問題等を修理や補修が必要な建造物が多く、また、建て替えによる歴史的建造物の喪失に繋がることから、これらの歴史的風致の要素となり得る建造物を保存することは歴史的風致の維持向上に寄与する。また、歴史的風致形成建造物の指定をきっかけとし、建造物の所有者に対し、保存の重要性についても周知できることから歴史的風致の維持向上に寄与する。	
事業創設区分	継続	
区分選択の根拠	歴史的風致形成建造物について、建造物の指定を通じて所有者に建造物の保全に対する意識が向上しており、また、地域住民にも、町並み景観の保全・活用に対する意識の向上が見られることから、今後も継続して事業実施を行い、市民意識の向上をより推進していくため。	
所管課	都市計画課	
備考		

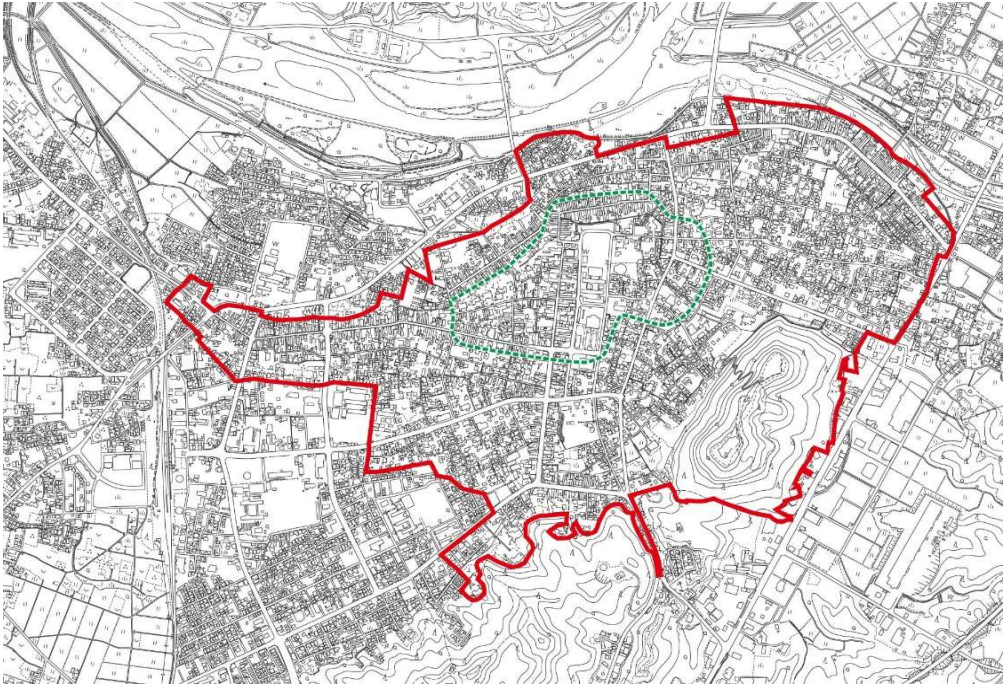
事業No.	8	歴史的風致形成建造物保存事業建造物の調査・保存・修理・活用 良好な市街地環境や景観の保全・形成
事業名	建造物外観修景事業	
事業期間	令和8年～令和17年	
事業主体	村上市	
支援事業名	村上市単費 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
事業箇所 事業の資料	重点区域 	
事業概要	アーケード等の近代的な設備の撤去及び建築物の歴史的な外観への修景行為等に対し経費の一部を補助する。	
事業が歴史的風致の 維持向上に寄与する理 由	事業地は、村上城下の町人町で最も早く開けた町であり、吉川家住宅を代表とする国登録有形文化財が数多く立地し、かつ、歴史的建造物である町家も現存する区域である。しかしながら、昭和40年代にアーケードと歩道が整備されたが、現在は建築物及びアーケードが老朽化し、国登録有形文化財周辺の歴史的風致に影響を与えていることから、アーケード等の近代的な設備の撤去及び建築物を歴史的な外観に修景することにより町人町としての町並み空間が復元され、歴史的風致の維持向上に寄与する。	
事業創設区分	継続	
区分選択の根拠	大町区に関して、アーケード等の撤去と外観修景が進み、歴史的な町並み景観が戻ってきているが、区域に含まれる小町区では整備が十分とは言えないため、継続して事業実施を行う必要があるため。	
所管課	都市計画課	
備考		

事業No.	9	歴史的風致形成建造物保存事業建造物の調査・保存・修理・活用 良好な市街地環境や景観の保全・形成
事業名	景観形成助成金事業	
事業期間	令和8年～令和17年	
事業主体	村上市	
支援事業名	村上市単費	
事業箇所 事業の資料	<p>重点区域</p>  <p>旧武家町地区、旧町人町・寺町地区、岩船地区、瀬波地区、海老江地区、塩谷地区、猿沢地区、小俣地区、</p>	
事業概要	村上市景観計画重点地区における建築物の外観修景等の行為に対し修景費の一部を補助する。	
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	事業地は、村上市景観計画において、重点的かつ先導的な景観形成に取り組む地区として重点地区に指定されており、各地区の歴史的背景などから特徴的な建築物が多数現存している。しかしながら、後継者の不在や生活スタイルの変化などにより、これらの建築物が創り出す景観に不調和な建築物が増加するなど多数の問題が生じていることから、建築物所有者の負担を軽減することにより歴史的な景観を保全し、住民の歴史景観の保全に対する意識の醸成にも繋がることから、歴史的風致の維持向上に寄与する。	
事業創設区分	継続	
区分選択の根拠	現在も村上市景観計画に基づき、重点地区に存在する建造物に対して景観形成助成金の交付を行っているところである。重点地区では地区ごとに建築物に特徴があり、それぞれが地区の景観とふうちの形成に寄与していることから、今後も継続して事業実施を進める必要があるため。	
所管課	都市計画課	
備考		

事業No.	10	歴史的建造物の調査・保存・修理・活用
事業名	文化財等普及啓発事業	
事業期間	令和8年～令和17年	
事業主体	村上市	
支援事業名	村上市単費	
事業箇所 事業の資料	重点区域 	
事業概要	史跡である村上城跡や追手門等が立地されていた歴史遺構箇所を再現するための取り組みを実施する。	
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	史跡である村上城跡は、市民に「お城山」と親しまれ旧村上城下のシンボリックな場所であり、平成6年（1994）の旧村上市の市制40周年の記念の際には一夜城が設置され村上城の存在を周知した経緯がある。歴史遺構である村上城跡や追手門などにおいて、歴史遺構を再現する取り組みを行うことにより、民間まちづくり団体が実施している町家を活用したイベント等との相乗的な効果を発揮し、文化財の保全や保存に対する意識の醸成に繋がることから、歴史的風致の維持向上に寄与する。	
事業創設区分	継続	
区分選択の根拠	市民にお城山として親しまれている村上城跡を含め、追手門等歴史遺構の再現・復元を行うことで文化財等の保全・保存に対する意識醸成が進められるため。	
所管課	都市計画課	
備考	建造物・工作物の再現に関しては予算の都合上難しい面もあるが、AR等のデジタル技術の導入を検討し、歴史まちづくりにおいてもデジタル技術を活用を進める。	

事業No.	11	歴史的建造物の調査・保存・修理・活用
事業名	観光イベント事業	
事業期間		
事業主体	村上市	
支援事業名	村上市単費	
事業箇所 事業の資料	(市全域) 	
事業概要	地域固有の歴史や伝統文化、伝統産業など地域の観光資源を活用したイベントの開催に要する経費の一部を補助する。	
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	歴史的風致の構成要素であり観光資源でもある地域固有の歴史や伝統文化、伝統産業を活用したイベントを通し、活力ある地域づくりや魅力ある観光地づくりを推進することにより歴史的建造物等の保全や保存、また歴史的活動を継続して実施していくための地域コミュニティなどの維持にも繋がることから、歴史的風致の維持向上に寄与する。	
事業創設区分		
区分選択の根拠		
所管課	観光課	
備考	近年は申請する団体等が無いことから、補助事業自体が行われていない。2期計画策定にあたっては、廃止として事業一覧から除外する。	

事業No.	12	良好な市街地環境や景観の保全・形成
事業名	道路美装化事業	
事業期間	令和8年～令和17年	
事業主体	村上市	
支援事業名	村上市単費	
事業箇所 事業の資料	<p>重点区域</p> 	
事業概要	側溝などの道路施設を歴史的景観に調和したものに改修しつつ、舗装を石畳風や地道風等の景観舗装に美装化する。	
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>事業地は、追手門を中心に史跡である村上城跡や重要文化財である若林家住宅や浄念寺本堂に通じるルート及び近接する市道で、城下町当時の地割が現在も色濃く残る路線である。</p> <p>歴史的風致に調和した舗装等に美装化することで歴史的景観が改善され、かつ、回遊しながら村上城下の歴史を感じる空間となることから、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>	
事業創設区分	継続	
区分選択の根拠	第1期計画期間中に事業は未完了である。町並み景観の形成および無電柱化事業の実施に合わせて実施することで、景観の改善・整備推進されるため、2期計画においても記載し、他事業の進捗に合わせて実施を進めたい。	
所管課	都市計画課	
備考		

事業No.		良好な市街地環境や景観の保全・形成
事業名		無電柱化事業
事業期間		令和8年~令和17年
事業主体		村上市
支援事業名		村上市単費 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
事業箇所 事業の資料	重点区域	
事業概要		電線等の地中化や軒下配線、裏配線により無電柱化を実施し、無電柱化により撤去される街路灯の代替施設を新設する。 を新たに整備し、夜間景観の創出と回遊性向上を図る。
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由		事業地は、追手門を中心に史跡である村上城跡や重要文化財である若林家住宅や浄念寺本堂に通じるルート及び近接する市道で、城下町当時の地割が現在も色濃く残る路線であり、道路美装化事業を実施する箇所である。 道路美装化事業に合わせて電線等を撤去し無電柱化することにより、歴史的な町並み景観が改善されることから、歴史的風致の維持向上に寄与する。
事業創設区分		継続
区分選択の根拠		昨年度より、県とともに地権者との協議を進めているところであり、県事業と併せて事業を実施することで一体的な整備が進められるため。
所管課		都市計画課
備考		

事業No.	14	歴史的建造物の調査・保存・修理・活用
事業名	歴史遺構跡整備事業	
事業期間	令和8年~令和17年	
事業主体	村上市	
支援事業名	村上市単費	
事業箇所 事業の資料	<p>重点区域</p> 	
事業概要	歴史遺構跡に立地する歴史的風致に調和しない建造物を修景しつつ、遺構跡地を整備する。	
事業が歴史的風致の 維持向上に寄与する理 由	事業地は、村上城の正面玄関である追手門が立地していたとされる場所であり、武家町と町人町を繋ぐ重要な箇所でありながら、現在は、村上市役所庁舎や村上小学校、村上簡易裁判所等の公共施設が立地しており、これらの施設が近代建築物であることから歴史的景観に調和していない状況である。これらの遺構跡地を復元的に整備することで、歴史的景観の創出に繋がることから歴史的風致の維持向上に寄与する。	
事業創設区分	継続	
区分選択の根拠	大町区・小町区周辺を中心に外観修景事業に集中的に財政投資を行ってきたところである。今後、その他の歴史遺構の整備も並行して進めて行く必要があるため。	
所管課	都市計画課	
備考	実際の建築物の復元にこだわらず、AR等のデジタル技術を活用した復元手法の導入も検討する。	

事業No.	15	良好な市街地環境や景観の保全・形成
事業名	まちなか景観魅力アップ事業	
事業期間	令和8年～17年	
事業主体	村上市	
支援事業名	村上市単費	
事業箇所 事業の資料	(市内全域) 	
事業概要	市内の商店街振興組合等の商店街団体が行う装飾街路灯の新設や改修、カラー舗装等の特殊舗装、地域文化に配慮した施設の整備に関わる費用の一部を補助する。	
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	歴史的景観に馴染まない街路灯も各所に設置されていることから、これらの景観に調和した装飾街路灯の設置や私道などの道路美装化などにより、歴史的建造物等と一体となった歴史的景観が創出され市街地環境の改善に繋がることから、歴史的風致の維持向上に寄与する。	
事業創設区分	継続	
区分選択の根拠	商店街振興組合等、民間が設置した街路灯は、管理等も民間が行うこととなっているが、装飾街路灯は通常の街路灯に比べ、取り扱う業者が少なく費用も割高になるケースがあるため、整備に関して一定の補助制度による民間の活動支援は必要である。	
所管課	地域経済振興課	
備考		

事業No.	16	良好な市街地環境や景観の保全・形成
事業名	木造住宅耐震診断・改修補助金事業	
事業期間	令和8年～令和17年	
事業主体	村上市	
支援事業名	村上市単費 社会資本整備総合交付金(住宅・建築物安全ストック形成事業及び効果促進事業)	
事業箇所 事業の資料	(市全域) 	
事業概要	昭和56年（1981）5月31日以前に建築等をした木造住宅の耐震診断費用及び耐震改修や耐震設計費用の一部を補助し、歴史的建造物を保全、保存する。	
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	市内各所に現存する歴史的建造物は、戦前以前に建築された建造物が多く、地震による倒壊等の危険性とともに建造物の倒壊による歴史的景観の喪失にも繋がることから、これらの木造住宅に対し耐震診断費用や耐震改修費用を補助することにより耐震改修が促進され、防災による被害の軽減を図りながら建て替えなどを抑止することで、歴史的建造物の保全や保存、歴史的景観の喪失の歯止めに関与することから歴史的風致の維持向上に寄与する。	
事業創設区分	継続	
区分選択の根拠	市内では歴史的建造物含め、木造住宅に住む市民が多く、地震による災害も多いことから市民からの関心・需要が高い事業である。今後も継続して事業を実施し、歴史的建造物の保存のほか、市民が安心して生活できる環境を整備したい。	
所管課	都市計画課	
備考		

事業No.	17	良好な市街地環境や景観の保全・形成 歴史的活動の継承と支援・普及・啓発
事業名	創業応援事業	
事業期間	令和8年～令和17年	
事業主体	村上市	
支援事業名	村上市単費および新しい地方経済・生活環境創生交付金	
事業箇所 事業の資料	(市全域) 	
事業概要	新規起業家、開業者に対し開業費用の一部を補助し、空き家、空き店舗となった町家などの歴史的建造物等の活用を推進する。	
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	市内には、村上堆朱や越後しな布などの伝統的な工芸や三面川の鮭の食文化など伝統的な産業が行われているが、後継者の不足などが課題となっており、また、歴史的景観が喪失する一つの要因となっている空き店舗等も増加している。伝統産業や空き店舗等を活用した新規開業者に支援を行うことにより伝統産業の維持及び歴史的建造物の解体を抑止しつつ、開業者の地域コミュニティへの参加により担い手が減少している歴史的な活動の継続的实施にも繋がることから市街地環境の形成及び伝統的な活動の継続の面で歴史的風致の維持向上に寄与する。	
事業創設区分	継続	
区分選択の根拠	重点区域内では、外観修景を行った空き店舗を活用して新規に起業した者や、新店舗としての活用が地元の事業者や市外の事業者によって進められている。また、重点区域外であっても空き家・空き店舗をテナントとして活用している事例もあることから、今後も空き店舗の利活用を促進していくために継続して実施していく必要がある。	
所管課	地域経済振興課	
備考		

事業No.	18	良好な市街地環境や景観の保全・形成
事業名	空き家バンク移住応援補助金事業	
事業期間	令和8年～令和17年	
事業主体	村上市	
支援事業名	村上市単費	
事業箇所 事業の資料	(市全域) 	
事業概要	市外居住者に居住者不在の建築物 住宅 （空き家）の物件情報を提供する。 市外から移住する方で登録物件購入者 には、建築物の改修に要する費用の一部を補助する。	
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	歴史的景観が喪失する一つの要因となっている空き家を有効に活用することにより市街地環境を改善しながら歴史的建造物の解体を抑止し、移住者の地域コミュニティへの参加により担い手が減少している歴史的な活動の継続にも繋がることから市街地環境の形成及び伝統的な活動の継続の面で歴史的風致の維持向上に寄与する。	
事業創設区分	継続	
区分選択の根拠	移住希望者への支援策として継続して実施することで、歴史的建造物の解体が抑止され、町並み景観の保全が図られることに含め、移住者が地域の行事等に参加することでコミュニティの維持にもつながる。移住希望者に対する住宅整備の補助は今後も必要な支援策の一つである。	
所管課	市民課	
備考		

事業No. 19 良好な市街地環境や景観の保全・形成 歴史的活動の継承と支援・普及・啓発

事業名 地方産業育成資金貸付事業 村上市制度融資事業

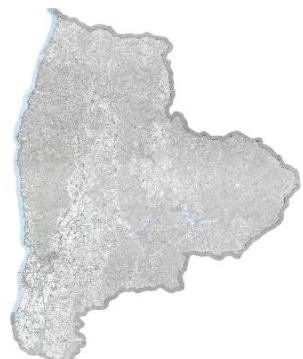
事業期間 令和8年~令和17年

事業主体 村上市

支援事業名 村上市単費

事業箇所 事業の資料

(市全域)



【令和7年度実行】
中小企業者の皆様へ
村上市制度融資のご案内

村上市では、市内の中小企業者の皆様に必要な事業資金を円滑に調達していただくために、融資制度を創っています。お気軽にご相談ください。

融資の流れ

- 中小企業者
- 相談
- 申し込み
- 審査
- 融資実行

種別	対象者	融資限度額	貸付期間	貸付利率	保証人 の必要性
村上市地域発展育成資金	・市内に住所を有する事業者 ・所在地が不明 ・中小企業者連合会が認定する事業者(専ら、個人事業主)に該当する者	融資限度額 1,000万円	5年以内(借入期間延長あり)	2.0%	必要(保証人なし)
一般貸付	・中小企業者連合会が認定する事業者(専ら、個人事業主)に該当する者 ・所在地が不明 ・中小企業者連合会が認定する事業者(専ら、個人事業主)に該当する者	融資限度額 1,000万円	5年以内(借入期間延長あり)	2.0%	必要(保証人なし)
創業支援資金	・中小企業者連合会が認定する事業者(専ら、個人事業主)に該当する者 ・所在地が不明 ・中小企業者連合会が認定する事業者(専ら、個人事業主)に該当する者	融資限度額 1,000万円	5年以内(借入期間延長あり)	2.0%	必要(保証人なし)
事業継承資金	・中小企業者連合会が認定する事業者(専ら、個人事業主)に該当する者 ・所在地が不明 ・中小企業者連合会が認定する事業者(専ら、個人事業主)に該当する者	融資限度額 1,000万円	5年以内(借入期間延長あり)	2.0%	必要(保証人なし)
設備投資資金	・中小企業者連合会が認定する事業者(専ら、個人事業主)に該当する者 ・所在地が不明 ・中小企業者連合会が認定する事業者(専ら、個人事業主)に該当する者	融資限度額 1,000万円	5年以内(借入期間延長あり)	2.0%	必要(保証人なし)

▲融資制度の案内パンフレットおよび制度一覧表

事業概要 市内の卸売業や小売業、飲食業等を営む中小企業者が事業資金を円滑に調達できるよう、各種融資制度を整備し、中小企業者の支援を行う。

事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由 市内には、村上堆朱や越後しな布などの伝統的な工芸や三面川の鮭の食文化など伝統的な産業が行われているが、今後の維持にあたって後継者の不足などが課題となっており、これらの従事者に運営資金や設備資金を融資することにより歴史的な活動の維持また発展に繋がることから歴史的風致の維持向上に寄与する。

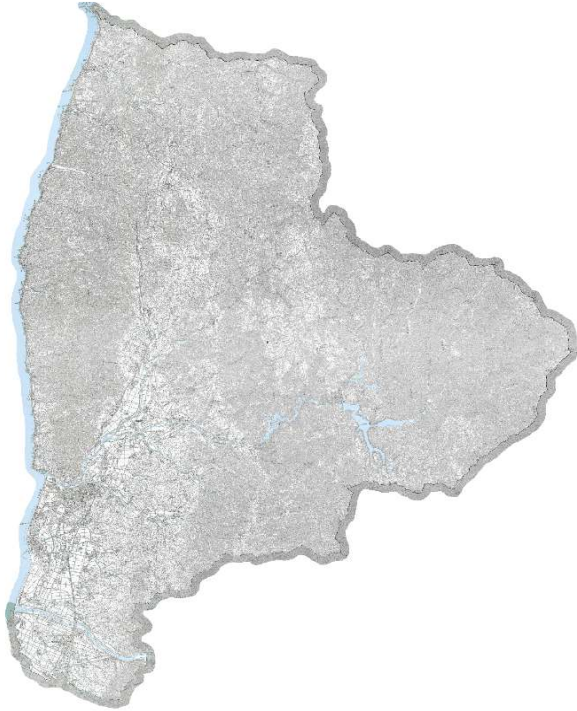
事業創設区分 継続

区分選択の根拠 伝統的な産業を営む事業者に対して、事業継続のサポートを行うことにより伝統産業の継続を図り、歴史的風致の維持が進められる。

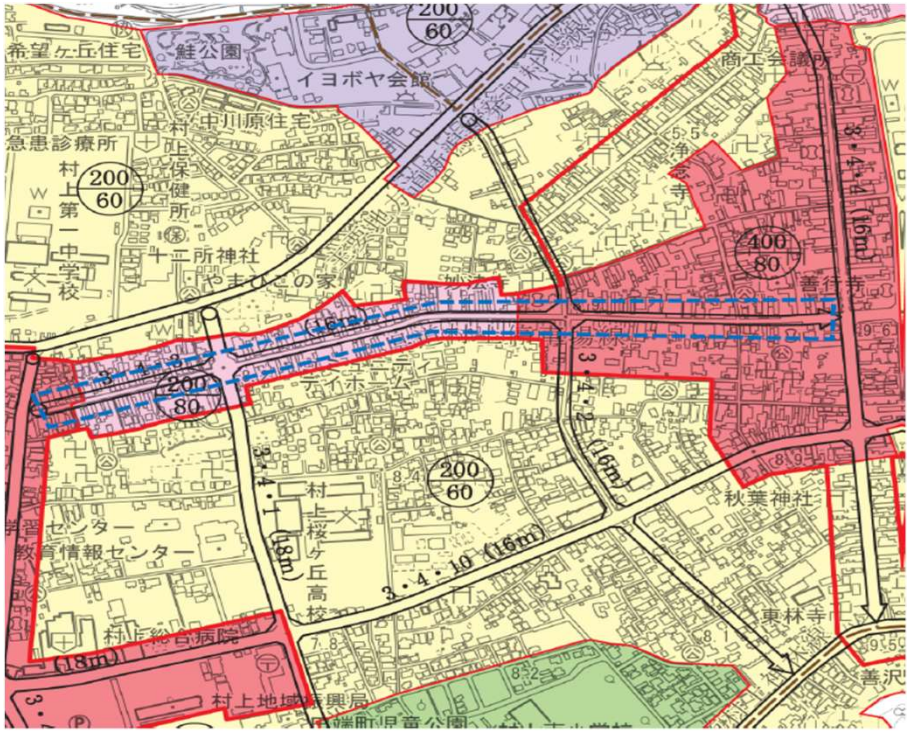
所管課 地域経済振興課

備考



事業No.	20	歴史的活動の継承と支援・普及・啓発
事業名	村上木彫堆朱推進事業	
事業期間	令和8年～令和17年	
事業主体	村上市	
支援事業名	村上市単費	
事業箇所 事業の資料	(市全域) 	
事業概要	漆生産の振興を図るため、継続的に漆栽培に取り組む林業者等に対して補助金を交付する。	
事業が歴史的風致の 維持向上に寄与する理 由	村上木彫堆朱は、村上市を代表する伝統的工芸品であり歴史的風致の一つの要素となっている。この事業を通して、村上産漆の確保を図ることで、歴史的な活動の維持及び継承に繋がることから歴史的風致の維持向上に寄与する。	
事業創設区分	継続	
区分選択の根拠	漆の栽培に対する補助は、堆朱産業にとって重要な施策である。今後も栽培を行おうとする林業者等の事業者に対して支援を続けることで、村上産漆の確保を図る。	
所管課	農林水産課	
備考		

事業No.	21	歴史的建造物の調査・保存・修理・活用 歴史的活動の継承と支援・普及・啓発
事業名	歴史的資源学習事業	
事業期間	令和8年～令和17年	
事業主体	地域まちづくり協議会組織	
支援事業名	地域まちづくり交付金（村上市単費）	
事業箇所 事業の資料	(市全域) 	
事業概要	各地域のまちづくり協議会組織等と連携を図りながら地域の歴史的資源を再発見するための資料を作成し、歴史を感じる体験学習会を開催する。	
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	城下町や宿場町、港町などの背景から形成され発展した町や集落内には歴史的資源が多数現存しており、地域の歴史や文化、建造物などをまとめたガイドブックを作成しながら、これをもとに現地を確認することで、地域内の歴史的風致に接する機会となり、歴史的な活動の伝承や建造物の保存活用の重要性について住民に周知ができることから歴史的風致の維持向上に寄与する。	
事業創設区分	継続	
区分選択の根拠	現在、各地域のまちづくり組織において歴史的資源を活用したまち歩きや学習会について、継続して事業を行っている。地域の歴史資源を学ぶ機会の創出につながっていることから、今後も継続した事業実施を行う。	
所管課	市民課	
備考		

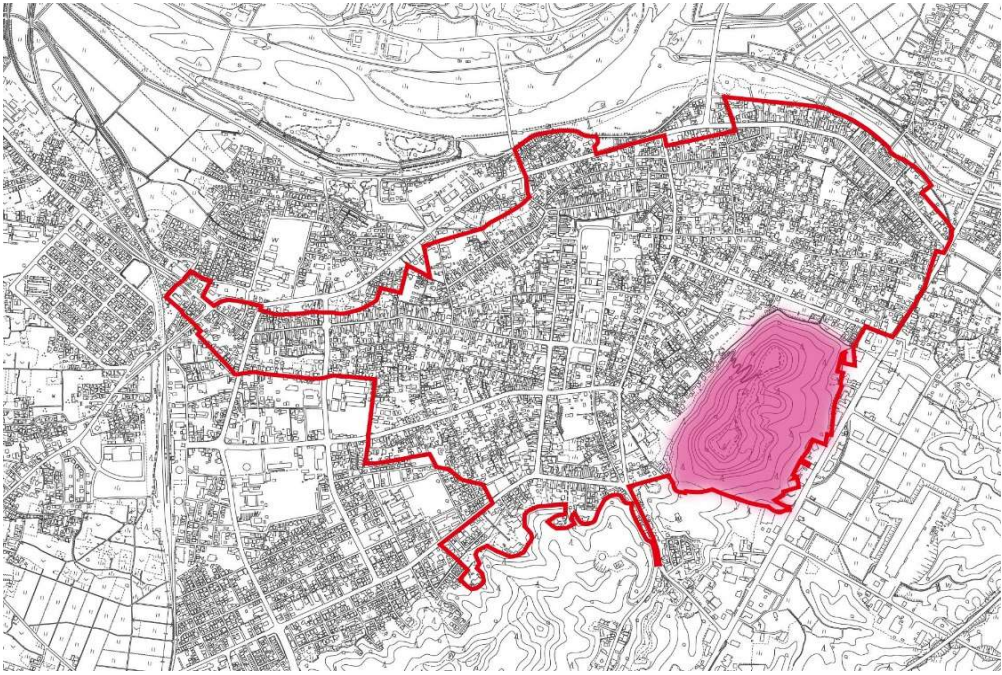
事業No.	22	歴史的活動の継承と支援・普及・啓発
事業名	伝統芸能体験事業	
事業期間	令和8年～令和17年	
事業主体	地域まちづくり協議会組織	
支援事業名	地域まちづくり協議会（村上市単費）	
事業箇所 事業の資料	(市全域) 	
事業概要	各地域のまちづくり協議会組織等と連携を図りながら村上まつり、岩船まつりや瀬波まつり等の祭礼行事や大須戸能等の伝統芸能の疑似体験講座を開催する。	
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	市内には村上まつりを代表に、各地で祭礼行事や大須戸能等の伝統芸能が伝承されているが、後継者の不足が課題となっており、これらの活動と関係性の低い子供たちに疑似体験する機会を設けることにより、歴史的な活動に興味、関心が芽生え、今後の担い手の確保が期待できることから歴史的風致の維持向上に寄与する。	
事業創設区分	継続	
区分選択の根拠	地域に伝わる祭礼行事や伝統芸能は、担い手不足が課題となっているが、本事業を通して子供たちが地域の垣根を越えて歴史的活動に触れる機会を創出しており、実際に当日の行事に参加する子供たちも増えていることから、今後も継続して取り組んで担い手の確保を進める必要がある。	
所管課	市民課	
備考		

事業No.	XX	良好な市街地環境や景観の保全・形成
事業名	都市計画道路見直し事業	
事業期間	令和9年度～令和17年度	
事業主体	村上市、新潟県	
支援事業名	村上市単費	
事業箇所 事業の資料	<p>都市計画道路 3・4・3 肴町安良町線</p> 	
事業概要	<p>長期未着手道路である都市計画道路の見直しを県と協議し、都市計画の変更手続きに向けて具体的な取り組みを進める。</p>	
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>見直し対象の路線は、沿線に歴史的建造物が残っているほか、村上まつりにおけるしゃぎり屋台の巡行ルートとなっている路線であるが、昭和54年の都市計画決定以降、長期未着手道路となっている。都市計画道路事業について廃止を前提として県と協議して手続きを進めることで、沿線の建造物に対して、都市計画事業施行に伴う建築制限がなくなり、歴史的な町並み景観の維持保全を進めることにつながることから、歴史的風致形成に寄与する。</p>	
事業創設区分	新規	
区分選択の根拠	<p>長期未着手道路となっている都市計画道路について、廃止手続きを進めることで、都市計画事業施行に伴う建築制限がなくなることから、より広範囲に歴史的町並み景観の維持保全が期待できるため、新たに計画書に記載し県への手続きを先に進める。</p>	
所管課	都市計画課	
備考		

事業No.	XX	歴史的活動の継承と支援・普及・啓発
事業名	食のみらい創造事業	
事業期間	令和8年度～令和17年度	
事業主体	村上市	
支援事業名	村上市単費	
事業箇所 事業の資料	<p>(市全域)</p>  <p>村上「食のみらい」創造協議会ホームページ</p>	
事業概要	本市の地場産農林水産物の利用促進及び情報発信を行い、生産者と消費者・実需者相互の意識醸成と、産業・経済・観光・食文化の振興を図り、村上市における食を中心とした地域活性化を図る。	
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	歴史的にも食文化的にも重要な鮭を筆頭に、古くからの祭りや行事における料理を重要視する村上市は、地域特有の食文化を有しているが、食文化の多様化に伴い、伝統料理に慣れ親しむ機会が減ってきている。伝統料理などの、長年受け継がれてきた地域特有の食文化を継承・普及させることで、地域の文化の保全につながり、歴史的風致の向上に寄与する。	
事業創設区分	新規	
区分選択の根拠	食文化に関する情報発信を行い、伝統的な料理などの継承・普及を図り、市民の食文化への意識向上を図るため新規事業として記載するもの。	
所管課	観光課	
備考		

事業No.		良好な市街地環境や景観の保全・形成																					
事業名		黒堀通り修復事業																					
事業期間		令和9年～令和17年																					
事業主体		村上市																					
支援事業名		歴史的観光資源高質化支援事業																					
事業箇所 事業の資料		<div data-bbox="454 555 606 593" data-label="Text">事業対象地</div>   <table border="1"> <caption>村上市観光入込客数</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>観光客全体 (人)</th> <th>訪日外国人 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2018年 (H30)</td> <td>2,261,875</td> <td>7,313</td> </tr> <tr> <td>2019年 (R1)</td> <td>1,977,215</td> <td>3,614</td> </tr> <tr> <td>2020年 (R2)</td> <td>1,280,123</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>2021年 (R3)</td> <td>1,417,957</td> <td>167</td> </tr> <tr> <td>2022年 (R4)</td> <td>1,622,637</td> <td>668</td> </tr> <tr> <td>2023年 (R5)</td> <td>1,773,498</td> <td>2,026</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：村上市観光入込客数調査より</p>	年次	観光客全体 (人)	訪日外国人 (人)	2018年 (H30)	2,261,875	7,313	2019年 (R1)	1,977,215	3,614	2020年 (R2)	1,280,123	67	2021年 (R3)	1,417,957	167	2022年 (R4)	1,622,637	668	2023年 (R5)	1,773,498	2,026
年次	観光客全体 (人)	訪日外国人 (人)																					
2018年 (H30)	2,261,875	7,313																					
2019年 (R1)	1,977,215	3,614																					
2020年 (R2)	1,280,123	67																					
2021年 (R3)	1,417,957	167																					
2022年 (R4)	1,622,637	668																					
2023年 (R5)	1,773,498	2,026																					
事業概要		黒堀通りの黒堀をアップグレードし、歴史的景観の創出と回遊性向上のための歩行者空間の整備を行い、増加傾向にある外国人観光客を含め、来訪者のまちあるき増進を図る。																					
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由		約20年前に整備された黒堀通りは、歴史的建造物とともに城下町の景観形成を担っていたが、経年劣化により腐食や破損が見られる。修景するだけでなく、門扉との一体性を持たせる等の高質化を行い、景観の向上を図る。また、対象地は無電柱化事業及び道路美装化事業の対象地でもあるので、一体的な整備を進め城下町としての町並みを備えることで、歴史的風致の向上に寄与する。																					
事業創設区分		新規																					
区分選択の根拠		黒堀通りは国登録の重要文化財同士をつなぐ路線であり、城下町らしい道であるため、整備を進めることで歴史的景観の整備と回遊性の向上が期待できるので、新たに事業化を目指すもの																					
所管課		都市計画課																					
備考																							

事業No.		良好な市街地環境や景観の保全・形成
事業名		若林家住宅表門修復事業
事業期間		令和8年～17年
事業主体		村上市
支援事業名		歴史的観光資源高質化支援事業
事業箇所 事業の資料	重点区域	
事業概要		若林家住宅の敷地内にある表門について、修復作業を行うことで重要文化財である若林家住宅と一体的な整備を進め、歴史的建造物の維持・保全を図る。
事業が歴史的風致の 維持向上に寄与する理 由		若林家住宅の表門について、事業を導入することで定期的な維持管理が可能となり、若林家住宅と併せて一体的な整備が行えることから、市内に残る貴重な武家屋敷の維持・保全が進み、歴史的風致の維持向上が期待できる。
事業創設区分		新規
区分選択の根拠		表門については、文化財の指定がされていないが、若林家住宅と併せて歴史的な建造物である。事業を導入し、定期的な維持管理を行っていくため、新規で事業化するもの。
所管課		生涯学習課
備考		

事業No.		良好な市街地環境や景観の保全・形成
事業名		景観阻害建築物除却事業
事業期間		令和8年～17年
事業主体		村上市
支援事業名		歴史的観光資源高質化支援事業
事業箇所 事業の資料	重点区域	
事業概要		史跡村上城跡の敷地内に、空き家が残っており、史跡の歴史的景観を阻害している。空き家の除却作業を行うことで、史跡整備と併せて歴史的景観の創出と高質化につながり、地元住民及び観光客のさらなる誘客を図る。
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由		史跡村上城跡の景観を阻害する建築物の除却を行うことにより、城下町村上のシンボルとなっている史跡の高質化につながり、歴史的風致の維持向上が期待できる。
事業創設区分		新規
区分選択の根拠		史跡村上城跡の整備に関して、石垣の修復以外の事業を導入して、史跡の維持・保全を進めることで、地元住民や観光客の誘客につながることから、事業化を目指すもの。
所管課		生涯学習課
備考		

事業No.		歴史的活動の継承と支援・普及・啓発
事業名		村上市歴史的風致形成店舗認定事業
事業期間		令和8年～令和17年
事業主体		村上市
支援事業名		村上市単費
事業箇所 事業の資料	(市全域)	
事業概要		村上市における伝統産業や歴史的風致に関連する事業を展開する店舗に対して、村上市歴史的風致形成店舗に認定する。店舗についてはガイドブックの作成にこだわらず、様々なPR手法や市独自に店舗の利活用が進む支援制度の創出を協議・研究する。
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由		市内各所に点在する歴史的風致を形成する店舗は、今後利用者の減少や事業者の高齢化等により事業の継続が難しくなり、閉業する店舗が増えていくことが懸念される。PR活動や支援制度を整備し、市内の歴史的風致を形成する店舗が継続していくことで、歴史的風致の維持向上に寄与する。
事業創設区分		新規
区分選択の根拠		現在運用している同制度を正式に事業として掲載する。今後のPR方法や支援制度の創設等、市独自の取組を進めるためにも、明確に掲載するもの。
所管課		都市計画課
備考		

事業No.		良好な市街地環境や景観の保全・形成
事業名		まちあるきデジタルマップ整備・普及事業
事業期間		令和9年～令和17年
事業主体		村上市
支援事業名		村上市単費
事業箇所 事業の資料	(市全域)	
事業概要		スマートフォンアプリによるデジタルマップを作成し、各種パンフレットを複合したマップを作成し、来訪者が手軽に地図を見ながらまちあるきを行える環境を整備し、回遊性の向上を図る。
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由		古地図等の複数の地図をより手軽に見れるようになることで、来訪者のまちあるきを促し、伝統産業に関連する店舗や町家を巡る回遊性の向上が期待できる。来訪者が増えることで、伝統産業に関わる事業者や歴史的建造物の所有者の、産業の維持継承や町家保存の意識醸成につながり、歴史的風致の維持向上に寄与する。
事業創設区分		新規
区分選択の根拠		デジタルデバイスを活用した歴史まちづくりは、村上市ではまだ主流とはなっていないが、デジタルパンフレットによる利用者の利便性向上を図るため新規事業化を目指すもの。
所管課		都市計画課
備考		導入後は検証を行い、観光課等のパンフレットとも連携することを目指す。

事業No.		良好な市街地環境や景観の保全・形成
事業名		木造住宅密集地防火対策事業
事業期間		令和9年~令和17年
事業主体		村上市
支援事業名		村上市単費
事業箇所 事業の資料	重点区域	
事業概要		歴史的風致形成建築物保存事業、建築物外観修景事業の導入により歴史的建造物の復元が進んだことで、重点区域内は木造建築物が増加し、火災が大規模化する危険性が高まっていることから、ハード面・ソフト面の両方から効果的な防火対策の導入を目指す。
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由		対象地域は、歴史的建造物の復元を行い、城下町の景観を形成しており、地元住民や観光客が多く訪れる場所である。また、しゃぎり屋台の巡行ルートにもなっていることから、防火対策を施し建造物の保全を行うことで歴史的風致の維持向上に寄与する。
事業創設区分		新規
区分選択の根拠		事業の導入によりアーケード等近代設備が撤去され、歴史的景観が創出されたが、これまで防火に対する具体的な対策は十分に行われていなかったため、事業に記載し、より具体的な対策の導入を目指すため、新規事業として掲載する予定。
所管課		消防本部、総務課、都市計画課
備考		